

みぬま見聞館だより No.62

令和3年12月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

昨年に続き、今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、『さいたま市環境フォーラム』はオンライン開催、『さいたま市みどりの祭典』は中止となりました。

今年は、カモの渡りが遅く10月11日に初めてヒドリガモのメスを確認した後、コガモを確認しました。

写真はムラサキシラホシカメムシです。どこか何かの顔に似ていませんか？



ムラサキシラホシカメムシ

ニホントカゲとニホンカナヘビ



ニホントカゲ



ニホンカナヘビ



私^{わたし}が子供^{こども}の頃^{ころ}（1970年代）、庭先^{にわさき}で尾^おが虹色^{にじいろ}に光^{ひか}ったニホントカゲの幼体^{ようたい}を良く自^よにしましたが、近年^{きんねん}あまり見^みかけることがなくなりました。自然庭園^{しぜんていえん}でもニホンカナヘビは日々^{ひび}見^みかけますが、ニホントカゲ^{ほう}の方はかなりまれです。

『埼玉^{さいたま}県^{けん}レッドデータブック^{どうぶつへん}動物編^{しら}』を調べてみると、2008年版^{ねんぱん}はニホントカゲ^{ちたい}が地帯別^{へつ}危惧^{きく}となっていました。2018年版^{ねんぱん}では、ニホントカゲ^{けいさい}は掲載^{けいさい}を外^{はず}れ逆にニホンカナヘビ^{ちたい}が地帯別^{へつ}危惧^{きく}として掲載^{けいさい}されていました。自然庭園^{しぜんていえん}では、ニホンカナヘビ^{ひんど}をかなりの頻度^みで見^みかけるので地域^{ちいき}によりかなり個体数^{こたいすう}に差^さがあるようです。

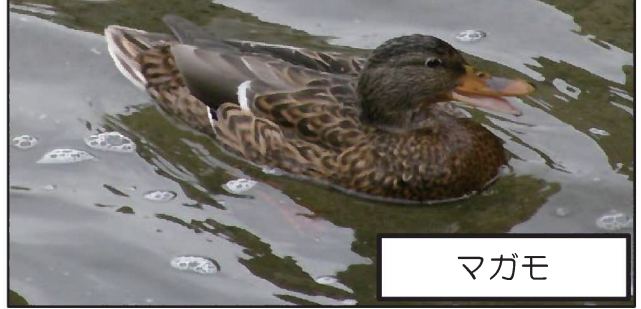
ことし ぶゆ かんさつ
 今年の冬はカモのメスを観察しよう！

クチバシが広く、外縁が橙色 目が褐色



ハシビロガモ

クチバシが橙色と黒 目が黒色



マガモ

クチバシが橙色で上部が先端まで黒色



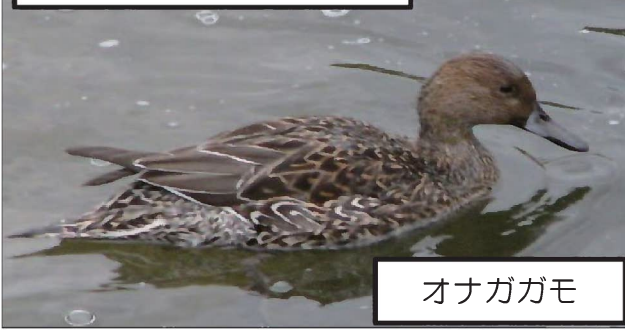
オカヨシガモ

クチバシが黒色



ヨシガモ

クチバシが黒色 頭部にやや赤み



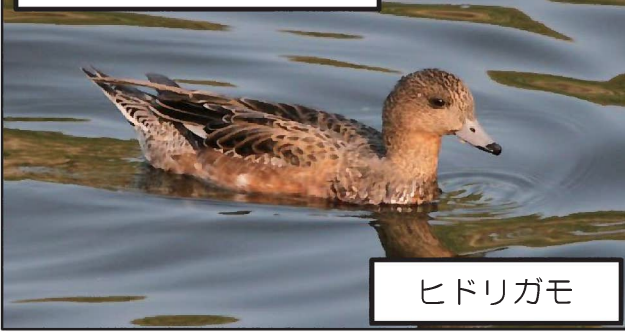
オナガガモ

クチバシが黒色 オナガガモより一回り小さい



コガモ

クチバシが水色で先端が黒色



ヒドリガモ

頭部に冠羽が有、クチバシが水色で先端が黒色



キンクロハジロ

普段、メスは子育てのためにオスに比べて自立たない色をしています。種類によって少しずつ色が違います。是非、冬に渡って来るカモのメスを比べてみましょう。何種類見つけられるでしょうか。そばで一緒に行動しているオスは種類が違う場合があります。

オカダンゴムシとワラジムシ



オカダンゴムシ・ワラジムシともに、子供の頃最初に興味を持った生き物ではないでしょうか。とても似ていますが、オカダンゴムシの殻は硬くワラジムシの殻は柔らかいです。また、触るとオカダンゴムシは丸くなりますがワラジムシは丸くできません。甲殻類に分類されるため昆虫ではありません。自然界の掃除屋さんです。

保育園・公民館で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。写真は岸町保育園、白鍬保育園、桜木保育園、大古里公民館で出前講座を行った時の写真です。聖フランソワ幼稚園、えがお保育園、ハーモニー保育園さんにも伺いました。講座の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



岸町保育園



白鍬保育園



桜木保育園



大古里公民館

幼児政策課の保育者研修が行われました！

10月20日に、幼稚園教諭・保育所保育士、認定こども園保育教諭における様々な課題に対応し、保育の専門性を高めるための実技研修の一つ「幼児の自然に対する興味・関心を育てるための自然体験」が行われました。庭園で生き物に触れたり、自然素材を用いた『松ぼっくりツリー作り』を行いました。



幼児政策課の説明



生き物体験



松ぼっくりツリー作り

団体見学がありました

10月21日(木曜日)天沼保育園が遠足で訪れました(写真①)。10月25日(月曜日)芝川小学校2年生が生活科『町の施設』の学習でみぬま見聞館を訪れました。新型コロナウイルス感染症対策として館内及び庭園を貸し切りにし、4クラスをそれぞれ半分に分け8か所、研修室で水処理の話(写真②)、館内で生き物の話・トイレの話(写真③)、市環境創造政策による温暖化対策の話(写真④)、庭園散策(写真⑤)、広場で市環境対策課による生き物調査(写真⑥)2か所に分かれ工場見学(写真⑦、⑧)を行いました。なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



①水の生き物体験



②研修室



③トイレの話



④温暖化対策の話



⑤庭園散策



⑥生き物調査



⑦工場(計量)



⑧工場(肥料製造)

お知らせ

- 1月21日(金) 大人のための野鳥観察会(専門講師による案内)が行われます。
- 2月18日(金) 大人のための野鳥観察会(当館職員による案内)が行われます。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

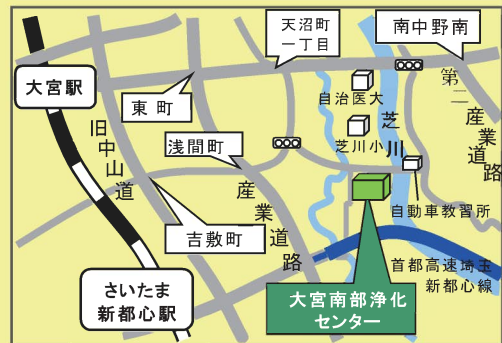
開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 FAX 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター(みぬま見聞館)

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数 6,400部 単価 10.4円

